学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）文章力・発表力養成基礎講座	単位数	１単位	年次	３年次前期
使用教科書							
副教材等	「基礎からの国語表現の実践（２訂版）」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・就職試験や大学受験での作文・小論文の試験対策におすすめの講座です。
・原稿用紙の使い方から文章作成の基本事項など、文章を書くことについての基礎から学習していきます。

2　学習の到達目標

・原稿用紙の使い方や基礎的な表現技法・表記の仕方など文章を書くにあたっての基本事項の習得。
・語彙力を増やし、表現力豊かな文章が書けるようになること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章を書くにあたっての基礎的基本的な事項を身に付けるようにしている。また基礎的な漢字や表現技法を書くことができる。	書いた文章が相手に伝わるように工夫されているか。また相手に伝わるように文章が整えられているか。	相手に伝わる文章を書くために、何度も自分の文章を読み返し、文章を推敲できるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	〈基礎〉 ○原稿用紙の使い方 ○表記について （仮名づかい・送り仮名） ○語句について （慣用句・敬語表現） ○推敲する 〈応用〉 ○文章作成について （文体や文の役割） ○要約のコツ ○文章構成について 〈実践〉 ○自己ＰＲの仕方 ○履歴書の書き方 ○面接での受け答え ○志望動機の書き方	a:文章を正しく書くための基礎知識を理解できているか。また語句の使い方やただしい表現で文章を書くことができるか。 b:相手に伝わる文章を書くために、一文の長さを調整したり、文体を整えたり、文章の構成を考えたりできているか。（書） c:予習復習をしっかりと行い、授業に臨む姿勢が積極的であるか。またに文章を正しく書こうと推敲することを積極的に取り組んでいるか。	小テスト 単元考査	作文 レポート 単元考査	提出物 振返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５　）時間